

知的障害特別支援学校を取り巻く現状について

令和元年7月10日(水) 18:30～

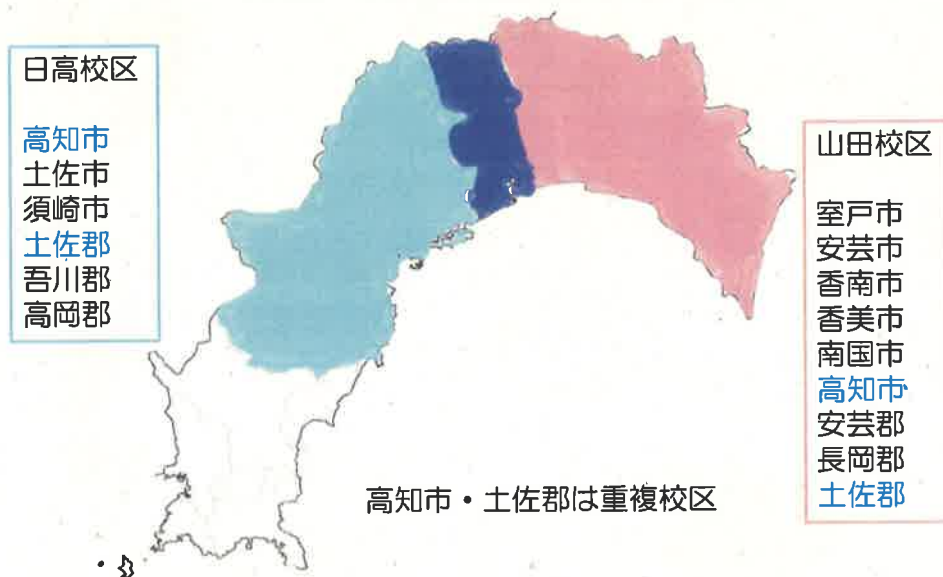
高知県教育委員会事務局特別支援教育課

知的障害特別支援学校の県内配置図



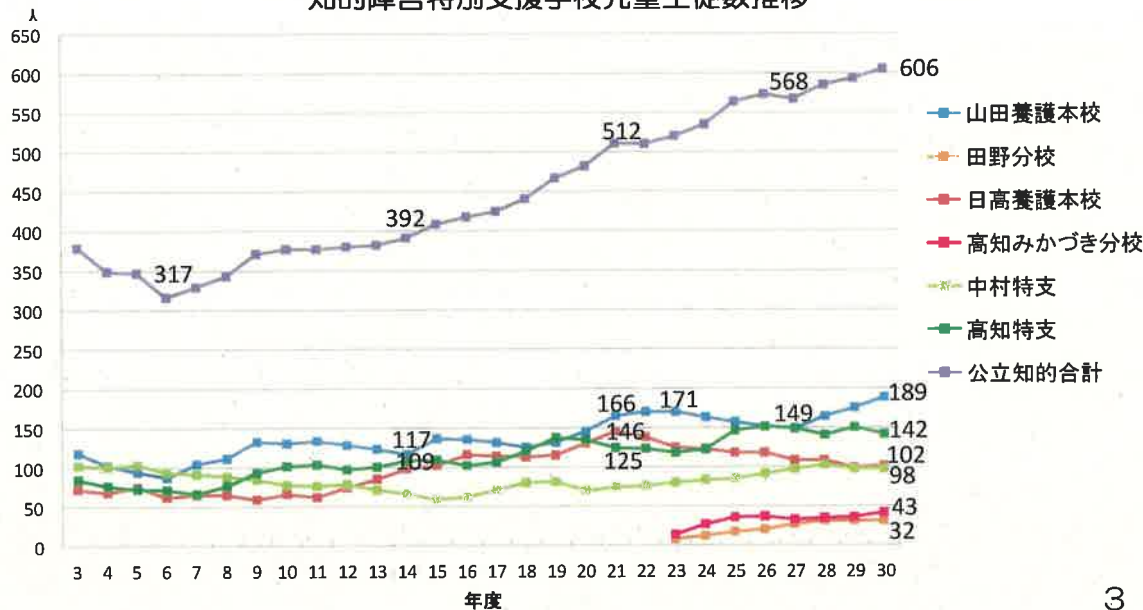
1

山田・日高特別支援学校の校区



2

知的障害特別支援学校児童生徒数推移



3

第1次再編計画（平成22年1月策定）に基づく
取組について【知的障害特別支援学校に関すること】

県中央部における知的障害のある児童生徒数の増加に伴う、山田養護学校、日高養護学校の教室不足や校舎の狭隘化



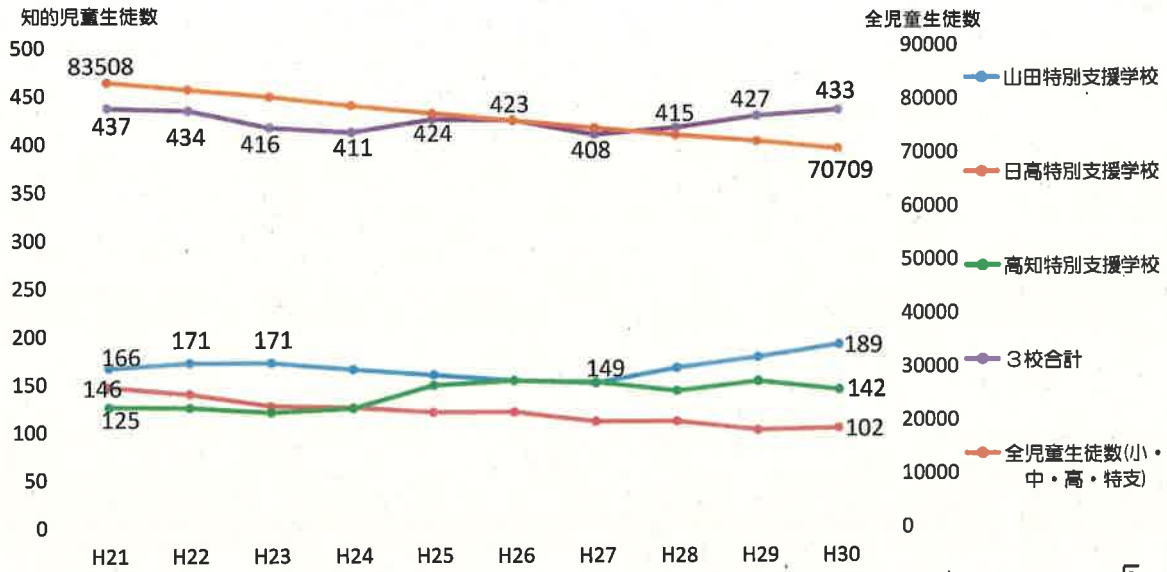
学校規模の適正化を図るなど教室条件を改善するため



日高養護学校高知みかづき分校及び山田養護学校田野分校を設置（平成23年4月開校）

4

全児童生徒数と県中央部の知的障害特別支援学校児童生徒数の推移



5

山田特別支援学校在籍者における市町村別人数

		H26	H27	H28	H29	H30
高知市	小	4	3	4	5	13
	中	17	19	19	14	15
	高	15	16	20	27	31
	計	36	38	43	46	59
南国市	小	7	10	13	14	16
	中	12	7	11	10	9
	高	19	18	14	14	11
	計	38	35	38	38	36
香南市	小	6	7	9	9	7
	中	7	8	13	14	20
	高	15	14	11	15	17
	計	28	29	33	38	44
香美市	小	3	3	5	5	5
	中	5	6	6	7	6
	高	10	13	15	13	13
	計	18	22	26	25	24

6

児童生徒数増加の要因

- ①保護者や関係者等への特別支援教育の理解が進み、特別支援学校の専門的な教育に対するニーズの高まりから、小学部段階など早期からの入学者が増えている。
- ②山田特別支援学校の児童生徒数について、高知市からの児童生徒数が増えている。
- ③同様に香南市、香美市の人口が増加傾向にあり（総務省平成30年（2018年）、住民基本台帳人口移動報告）、この地域からの児童生徒数が増えている。

7

特別支援学校の各学部の学級数と人数の基本的な考え方

小学部6学級（1学年1学級）
中学部6学級（1学年2学級）
高等部9学級（1学年3学級） 計21学級

各学級に定員（小学部6人、中学部6人、高等部8人）
いっぱい入ると144人

※ 定員より人数が少なくても学級数は変わらない。
定員より1人でも超えると学級数が増える。

※近年教育環境の変化により、課題別学習を行う教室やカムダウンルームが必要になってきている。

8

高知県立日高特別支援学校の現状

- ピーク時の人数（146人）からは減少傾向
 - 平成29年度から小学部プレイルームを普通教室に転用
 - 基本となる普通教室数は21あるため、定員どおり入ると144人が学べる計算になるが、課題別学習等に使用する教室やカームダウンルームの確保等を考えると、普通教室として使えるのは19教室（最大129人 ※理論値）
- さらに、どの学年も定員いっぱいになることは考えにくいため、受け入れ人数の目安は120人程度
- H30年度には102人 19教室使用
（今年度は112人※速報値 20教室使用）

9

R元年度 日高特別支援学校 各学年の人数と学級数

学部	学年	人数	使用教室数
小学部	1年	4	1
	2年	0	
	3年	3	1
	4年	4	1
	5年	6	1
	6年	5	1
中学部	1年	14	3
	2年	7	2
	3年	9	2
高等部	1年	14	2
	2年	23	3
	3年	23	3
計		112	20

10

高知市立高知特別支援学校の現状

・H18年度頃から児童生徒数が増加し、H26年度には152人まで増加

・以前から、特別教室を普通教室に転用、ロビーを間仕切る、普通教室を2分割する等して普通教室不足に対応

・校舎増築により、H28年度から普通教室を6教室増やし28教室に

数字上の普通教室不足は解消したが、作業室等が不足しているため、現在は普通教室を作業室等として使用。学校施設の現状から考えると、普通教室を24教室（最大164人 ※理論値）にすると作業室も確保できる。

さらに、どの学年も定員いっぱいになることは考えにくいいため、受け入れ人数の目安は144人程度

・H30年度は142人 27教室使用

（今年度は130人※速報値 25教室使用）

11

R元年度 高知特別支援学校 各学年の人数と学級数

学部	学年	人数	使用教室数
小学部	1年	4	1
	2年	8	2
	3年	8	2
	4年	3	1
	5年	5	1
	6年	6	1
中学部	1年	10	2
	2年	8	2
	3年	10	2
高等部	1年	24	3
	2年	18	3
	3年	26 (訪問1)	5 (訪問1)
計		130	25

12

高知県立山田特別支援学校の現状

- 基本となる教室数は24教室であるが、これまでも児童生徒数に応じて特別教室から普通教室に転用していた。
 - H28年度から再び児童生徒数増加傾向に転じたため、さらに特別教室4室を普通教室6室に転用した（計9教室）。
 - 転用した特別教室で行っていた学習は、会議室及び多目的ホール等を活用
 - 学校の施設の状況から考えると、普通教室を24教室（最大164人 ※理論値）にすると、特別教室も確保できる。
- さらに、どの学年も定員いっぱいになることは考えにくいため、受け入れ人数の目安は144人程度
- H30年度には189人 33教室使用
（今年度は187人※速報値 33教室使用）

13

R元年度 山田特別支援学校各学年の人数と学級数

学部	学年	人数	使用教室数
小学部	1年	7	2
	2年	10	2
	3年	6	1
	4年	8	2
	5年	11	2
	6年	5	1
中学部	1年	7	2
	2年	18	3
	3年	21	4
高等部	1年	34	5
	2年	26	4
	3年	34	5
計		187	33

14